

秋のお彼岸



萩やヒガンバナ、リンドウに金木犀、次々に咲き出す花々や心地よい秋風が、そっと夏の疲れを癒してくれるこの頃、皆様には、無事暑さを乗り越えられたことと存じ上げます。

虫の音に誘われ美しい月を拝める今月は
仏教徒にとって修行期間であるお彼岸を迎えます。
今年は9月22日(木)の秋分の日を中日とし、
前後7日間9月19日~25日がお彼岸となります。



お彼岸は、私達仏教徒にとって、
「日頃忙しくてなかなか仏道精進できないものの、
せめてこの一週間は仏様の教えを守り、心の修行をしましょう」という期間です。
この7日間、自分なりに仏様の教えに沿った生活を送り、善いおこないを積むことで
ご先祖様への功德とします。



さて、日常の中でできる修行には
布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧の6つがあり、
今年の春彼岸には布施の中の「無財の七施」を
一昨年、昨年の秋彼岸には持戒・忍辱をご紹介しましたので、
今回は精進についてご紹介しましょう

「もろもろの事象は過ぎ去るものである。怠ることなく修行を完成させなさい」

これが、お釈迦様最期のお言葉だったといわれています。

常に努力を続け、決して投げ出さないこと
目的に到達するか否か、そんな可能性すら考えず
ただひたすらに努力すること
我を忘れ一心不乱に集中すること
これが精進であり、お釈迦様の最期の教えです。



皆様ご存じの昔話「ウサギとカメ」は、
ウサギとカメがかけっこで競争するお話です。
ウサギは真剣に走らず居眠りをします。
一方カメは必死に走り続け、見事ウサギに勝つお話です。

「勝てるはずがない」「無理だ」と投げ出す心は
ウサギと自分を比較するところから生まれますが、
比べる心を持たず、自分の力を信じ精進する強さが
わかりやすく表現されています。



「比べる心」を持たないこと
修行道場では毎日同じ場所を雑巾がけします。
昨日掃除したから良しとしない、
昨日と今日を比べない心の修行をします。
犬はボールを投げれば何度でもキャンキャン喜び
ボールを全速力で追いかけます。
数秒前と今を比べず常に新鮮な喜びに満ちています。

仏教徒は言うまでもなく心の安心「悟り」を目指し日々精進します。
一人ひとり、比べる心を持たず今自分にできる善行を精一杯積むことができれば
立派なカメになれるかもしれません。

花はなぜ美しいか ひとすじの気持ちで 咲いているからだ (八木重吉)

大智寺だより

平成 28 年長月
Vol.77

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp
《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地の水小屋にてご自由にお取りいただけます。ご活用ください。

8月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

車上荒らしが捕まりました！



ここ数年、大智寺の山門前や墓地前の駐車場で車上荒らしが多発していましたが、とうとう警察の方のご尽力で犯人が捕まりました。少しホッとできますが、今までの被害すべてがその犯人によるものかどうかわかりません。警察の方のご助言では、①カード類すべてを財布に入れられないこと（紛失時すぐ電話連絡できるものだけ持ち歩くこと）②カード暗証番号を紙に書いておかないこと ③貴重品は肌身離さないこと だそうです。とはいえ二度と車上荒らしの被害が起こらないことを願います。

岐阜西教区第十一部1ブロック研修旅行 10月15日（土）

岐阜西教区第十一部には、43ヶ寺の妙心寺派寺院がありますが、跡部の恵利寺、龍泉寺、高野の永昌寺、平の龍福寺、永林寺、大智寺の6ヶ寺を第1ブロックと呼んでいます。（十一部には第6ブロックまであります）どのブロックも近距離のお寺同士が集まっており、寺院間・檀家間の交流を目的として毎年色々な催しを企画しています。



第1ブロックでは今まで一宮妙興寺や滋賀永源寺、福井大安寺などへ参拝し楽しいバスの旅をしてきましたが

今年は滋賀県湖東三山への参拝を予定しています。

湖東三山は琵琶湖の東側、鈴鹿山脈の西山原に位置する西明寺、金剛輪寺、百済寺の三つの天台宗寺院の総称で、特に紅葉の美しさが有名です。まだ紅葉の時期には早いですが、荘厳な空気を感じつつお参りできると思います。

なかなか他所の檀家様や和尚様とお話する機会も少ない中、同じ妙心寺派を信仰する者同士、親しく交流できる場になれば幸いです。



～ 他家の法要に出る機会の少ない奥様のため 若い世代のために ～
（実際にお寺にご相談いただいたものから抜粋）

お寺のこと、仏壇のこと、法要のこと etc わからないこと 質問帳 ②6



「1月初旬の法要の人ってお知らせあるの？」

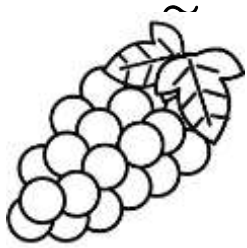
檀家様方の法要が今年当たっているかどうかお伝えするため、大智寺では、毎年1月に大般若札とともに年忌法要のお知らせをお配りしています。けれど、大般若札はご祈祷してからお届けするため1月初旬に年忌法要を迎える方にとっては、このお知らせがどうしても遅れて届くこととなります。お知らせが届いた時には、既にご命日を過ぎていたということになってしまいます。そのため1月初旬のご命日の場合、申し訳ありませんがご当様ご自身で「あ、今年は年忌法要があるな」と日程を組んでいただくこととなります。

お寺では12月下旬に繰り出し（年忌法要が当たる方のご戒名、故人の名前、ご命日を書いた紙）を本堂に貼り、見ていただけるようにしています。

法要のお知らせが届くよりも早く、この繰り出しでご確認いただくことができます。ただご親族様その他お客様にご案内を出すには、やはり遅くなってしまいます。

いつ年忌法要に当たっているか一目でわかる一覧を、ご希望の方には個別に差し上げます。一覧をお仏壇のあたりに控えていただき、年初に各自ご確認いただくのが一番確実かもしれません。

日常を豊かに『発菩提心空拳章（通称：菩提和讃）』 ～



お経のやさしい和訳（和讃）から
毎日の生活を 心豊かに

大智寺檀信徒日課經典
31ページより

⑳

「^{たすさ ゆ}携え行くべき道ならず ^{みち} ^{さいしけんそくあり}妻子眷属有しとて」

三島市龍澤寺の中川宋淵老師の句に、「かまきりの 尋常に死ぬ 枯れ野かな」とありますが
財産、名誉、肩書、若さ、美貌、いろいろなものが「尋常に死ぬ」ことを拒み、苦悩を引き起こします。
中でも死に際して最も心痛め苦悩するのが、家族との別れではないでしょうか。

人生をととも歩んできた大切な家族であっても別れが必ずきます。
その辛い日が来ることを知りながら、今日もなにげなく家族と一日を過ごします。



幸いの中の人知れぬ辛さ
そして時に 辛さを忘れてもいる幸い
何が満たされて幸いになり
何が足らなくて辛いのか
(吉野弘「漢字喜遊曲」より抜粋)



漢字の成り立ちから、「幸せ」とはその中に「辛さ」を包み込んでいるものだと教えてくれる詩です。
死は避けて通れない辛い事実であるからこそ、今の幸せをかみしめることができます。
サラリと「尋常に死ぬ」ことは難しいですが、せめて後悔のないよう今日の幸せを感謝したいものです。

秋風のつらさ

秋風に白萩の花が優しく揺らぎ始めました。皆様がいかにお過ごしでしょうか。

夏の疲れを癒したいこの時期、身体に嬉しいのが、不老長寿の果物と呼ばれるイチシクです。「無花果」と書くように、実の中に花が咲く変わった仕組みのイチシク。原産地アラビア辺りでは、イチシクコバチがイチシクのおしりに開いている小さな穴から入り込み、中に卵を産むそうです。幼虫はイチシクを家代わり食糧倉庫代わりにし、成虫になると体に花粉を付けて外に出て、他のイチシクに入り込み産卵するというおどろきの仕組み。このおかげでイチシクは受粉でき、イチシクコバチは幼虫を安全に育てられます。

さて9月には彼岸花を楽しみに多くの方が参拜くださいます。彼岸花を見、大ヒノキや、本堂伽藍、色々なるものを見ていかれます。嬉しくありがたい反面、これで本当にいいのだろうかと自問自答することもあります。

引き寄せて結べば柴の庵にて
解くれば元の野原なりけり

伽藍は解けば木と瓦、畳になるし、境内の樹木や花々も、解くれば元の野原です。禅寺として物質ではなく真にお伝えできる「花」を育てなければと思つこの頃。

外見からは到底想像できないイチシクの花のように、秘された「花」で人の心を動かすことができるお寺を目指したいものです。

～ シリーズ いますぐできる精進の味 ～

♪ お寺のぶきっちゃんでも簡単に作れた ヘルシーなお味 ♪

とろっとクリーミー ピーナツかぼちゃのスープ

- ① かぼちゃを半分に切り皮をむき種を出し、1cm角サイズの大きさに切りわけ。
- ② 玉葱1つを薄切りにし、水2カップとかぼちゃを全部合わせて鍋にかける。
- ③ かぼちゃが柔らかくなったら、冷ましてミキサーにかける。
- ④ なめらかになったら鍋に戻し弱火にかけ、牛乳で好みの濃度までのばす。
- ⑤ 最期に塩、こしょうで味を調べて出来上がり。



ピーナツかぼちゃはほくほくした感じがないので、煮物よりスープに使われているようです。
生クリームを加える方法、バターで玉ねぎを炒めてからかぼちゃと煮る方法、コンソメを入れる方法色々アレンジして楽しめます。濃厚なスープの一皿、秋の初めにぴったりです。

♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

9月25日(日) 一回 500円
(朝8時~9時) (内300円は義援金)
要申込

8月写経会 備忘録

台風の影響か曇りがちな日曜日の写経会。今回は落語「まめや」をご覧いただきつつ「無得」について考えてみました。赤子の時には空っぽだった自分の一生の中にたくさんの思い出、知識、財産を詰め込んでいっぱいにして自分の価値を計った上で、再び空っぽになっていく様が、この落語におもしろおかしく描かれています。



大智寺の本尊様に見守られつつ、
故人の新たな一步を本堂からお見送りする
そんな一般葬を希望される方々へ



本堂を会場に営む 一般葬
あれこれ

8 葬儀当日(葬儀までの流れ)

葬儀の規模にもよりますが、駐車場整理係や受付係、案内係を地域の方や親類に依頼する場合は当日朝お集まりいただく時間を調整し、お斎の手配をしておきます。

お斎は庫裏で召し上がっていただくこととなりますが、一度にだいたい20~30名座れます。それ以上多くの方に召し上がっていただく予定の場合は、仕出しの届く時間を早めに調整し席を交代しながら召し上がっていただきます。

臨済宗のお葬式は、通常和尚様6人もしくは4人ですが
だいたい和尚様方は葬儀開始時刻30分ほど前にお集まりになります。
和尚様控えのお部屋も庫裏に用意します。
和尚様到着後のお茶菓子、食事配膳は葬儀社の方がさせていただきます。
和尚様がお揃いになられたら、喪主はごあいさつに行きます。



葬儀前にはご当家ご親族様の座席、焼香の順を確認し
慌しく感じられる中、心静かに座り葬儀開式を待ちます。

ご自宅で お寺で 市営斎場で 営む
家族葬

ご家族・ご親族のみの家族葬をお考えの場合、
ご自宅や市営斎場を会場に営むことができます。

また大智寺を会場にお使い頂くこともできますが、
その場合、指定の葬儀社をお寺でご案内致します。
必ず前もってご相談ください。

家族葬をご検討される場合は、
葬儀社のこと、葬儀会場のことなど含めて
まずはお寺までご相談ください。

完全個別永代供養墓

1区画：38万円~
(墓石代金含む)

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方が
いなくても、お寺がご供養させて頂くお墓です。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦・ご家族一緒に
ひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。
永代にわたり、他の方のお骨と混じらないことから
「完全個別永代供養墓」といいます。
詳しくは、ご見学を含めてご説明しますので、
ご予約の上 ご来山ください。